



気が付くと、私は薄汚れた路地裏であられもない姿をさらしていた。目の前にはピンク色に輝く魔術礼装を手に掲げ下劣な笑みを浮かべる男。私はついさっきまで鍛錬のため街中をランニングしていたはずなのに、なんで……礼装が一際強く輝いた瞬間、その疑問と入れ替わるようにして心地よく淫らな疼きとひどく大胆で向こう見ずな感情が押し寄せてきて、心と体を支配した。



「ああ、そうでしたね。そろそろスクワットを始める時間でした。揺るがぬ下半身こそ守りの基礎、サーヴァントの身とはいえ、重点的に鍛えないと……♡」

自分で自分に言い聞かせているような、どこか虚ろな言葉に続いて、私は『スクワット』を開始した。いち、に、いち、に。目の前に差し出された男の陰部に私の陰部をこすりつける。高まる熱に応じるように、私の下腹部に刻まれた卑猥な文様が輝きを増す。



「はあ……はあ……♡あ、あっ、あ、はあっ♡」

激しい運動に伴う息使いに、いつしか官能の吐息が混じりはじめる。いきり立つペニスは下着越しの秘唇にこすられながら満足そうに震え、絶頂の時間が近いことを知らせていた。ああ、まって、私ももう少し、もう少しですから、あっ♡



「んお…っ♡お”っ♡
お”へえっ♡」
最低に下品で汚い声を上げて、私は絶頂を迎えた。何故か買った記憶のない卑猥な下着が内側から愛液を吸い、外側から先走りと精液の混合物を吸わされる。噴きだした精液が私の腹や下半身にびちゃびちゃと降り注ぎ、男が立ち去ってからも、私はしばらくその姿勢のまま絶頂の余韻に浸っていた。下腹部の紋様が淡く輝き、私により深い支配と快楽の烙印を刻み込んでいく……。



「ふふふ……なにを驚いているんですか？こんなふう
にいやらしいことがしたか
ったから、私をこんな人気
の無い路地裏まで追ってき
たのでしょうか？ああ、そん
なにあって取り繕わなく
てもいいんですよ。お兄さ
んの逞しくてえっちなアソ
コが、私の下品なセックス
アピールを見て勃起してい
るのは見ただけでわかって
いますから♡」



「あんっ……♡熱いからパーカーも脱いでしまいたいでしょうか。あっ♡今日とおちんちんが反応しましたね？さっきから言っているように、好きにしていいますよ？私のドスケベな雌のカラダ、セックス専用性欲奴隷（サーヴァント）の肉体を♡もちろんそれ相応の対価はいただきますが、このあたりのえっちなお店の相場よりもはるかに安いとお約束します♡ちなみに私はこれから『スクワット』を始めます……途中で何がこすりつけられても♡



「よいしょ♡よいしょ♡
ふふ……♡いきなり寝そべ
ってアソコにおちんちんを
こすりつけるなんて、積極
的なんですね♡私そういう
男の人、大好きです♡おち
んちんもすごく立派でこす
りつけているだけでアソコ
が熱く濡れてしまって……
はあんっ♡気持ちいい♡」



「はっはっはっ♡おほっ♡
おっ、あーっ♡すごおい♡
まだ入れてないのにまるで
セックスしているみたいで
す♡ドキドキといやらしい
気持ちが止まらなくて、ア
ソコがどんどん濡れてきち
やう♡あ♡あなたもそろそ
ろイきそうなんですか？い
いですよ♡私の汗ばんだ褐
色お肌を、あなたのザーメ
ンでいっぱい染め上げてく
ださい♡」



「んお……っほお……っ♡は
あああ……♡この熱、この匂
い、やっぱり期待通りのおち
んぽです♡目をつけて性欲誘
発雌フェロモンむんむんの姿
で誘って良かった……あ、い
え、何でもありませんよ？そ
れよりお兄さんのおちんちん
もお財布も、まだまだ大きく
てぱんぱんに膨らんだままで
すよね？もしも私ともっとす
ごいことがしたいなら……こ
のまま2人で、ホテルに行き
ませんか♡



「ん♥んぶ♥じゅぶぞっ♥じゅび♥じゅぶる
るるるる……♥んはあっ♥いかがですか？あ
なたの名前より先におちんぼの味を知っちゃ
うような変態女のフェラチオご奉仕の味は♥
ふふっ♥口で言わなくてもおちんちんがびく
びくって震えて私に教えてくれますよ♥
ええ♥安心して私に身を委ねてください、危
ないことなんて何もありませんよ♥いえ、あ
る意味駄目だったかもしれませんが、だって
……あなたの敏感で無垢な童貞おちんちんは
これから、出合ったばかりのドスケベ性女に
気持ちよおくザーメンを搾りつくされる快感
を味わってしまうのですから♥あれ、意外で
したか？童貞なのがばれてるって♥でもそん
なこともう気にしなくていいですよ。だって
今から私が食べちゃうんですから♥」



「むふっ♡もう♡童貞卒業できるってわかった瞬間おちんちんを大きくしましたね？なんて素直なおちんちんなのでしょっか……っどんどん好きになってしまいます♡あら？なんで歯を食いしばって耐えようとしているんですか？駄目ですよ♡本番まで射精を我慢するなんてさせてあげません♡童貞さんの新品おちんぽガッツリ味わわせてもらってから、お口の中にいっぱい口内射精（なかだし）してもらいます♡ねっとりとした濃厚な童貞喪失セックスは、そのあとで……ね♡」



「んふっ♡んぐっ♡んぼぶうっ♡すご♡私の
お口にザーメンコキ捨てるって決まった瞬間
一気にカウパー汁があふれて来て、匂いだけ
でくらくらしめます♡やだ、まだ素股とフェラ
しかしてないのに、私墮とされかかっている♡
童貞チンポに詰まった私への劣情だけで屈服
させられちゃうっ♡戦う前に敗北宣言しちゃ
いますっ♡♡」



「んふー♥ふーっ♥うふふ……♥お疲れ様で
す、お兄さんの熱々濃厚ザーメン、ご馳走様
でした♥ええ、次はいよいよ、お待ちかねの
童貞喪失タイムですよ？ほら見てください、
私のおまんこももうセックスがしたくてした
くてたまらなくなっています♥ええ、これは
夢なんかじゃありませんよ、お兄さんはこれ
から私と、精液のたっぷり詰まったキンタマ
が空っぽになるまでたあくさんセックスしま
くるんです♥嬉しいですか、よかったですね
♥私も嬉しくてたまりません♥さあ、呼吸を
整えて、ベッドにしっかりと寝そべってくだ
さい♥」



「ほら、見えますか？お兄さんの大事な童貞が、私の意地汚いアソコにゆうっくりと食べられちゃっていますよ♥新品おちんぽがオマシコ肉をおっかなびっくりかき分けていく感覚、素敵です♥ふふ♥慌てなくても私の方が動いてあげますから、今はおちんちんだけに意識を集中して、いっぱい感じてくださいね……私のナカの気持ちよさを♥」



「はい、おちんちんの根元まで濡れ濡れ淫乱おまんこでぱっくんしちやいました♡童貞喪失、おめでとうございます♡ん♡う♡おちんちんが中ですっごく震えて悦んでいますね♡入れてるだけで感じちやう♡いかがですか？大事な童貞食べられちやつた感想は♡ふふ♡気持ちよさに蕩け切った可愛らしい顔♡でもまだまだこれからですよ？ここから私とお兄さんのおまんことおちんぽをぬちゆぬちゆってスケベにこすり合う、最高に気持ちのいい行為が待っているんですから♡」



「んあっ♡ほっほおっ♡気持ちいいっ♡あなたはどうですか、人生初めてのセックス、気持ちいいですか♡でも初めての相手が私だったのは運が悪かったかもしれませぬね。だって……初体験からこんな性欲丸出しの変態交尾を経験しちゃったら、もう真面目な子作りセックスなんかじやおちんちん興奮できなくなっちゃうかもしれないから♡あ♡もういきそうなんですか？ええ、何も恥づかしくなんかありませんよ♡このまま何も気にせず最高に気持ちいい中出しキメちゃってください♡変態性女ジャンヌの恥ずかしい雌穴にザーメンコキ捨ててください♡」



「んおおおっ、きたあ♡童貞喪失一
番しぼりっ♡初めて雌穴の中にぶち
まけられる濃厚ザーメンっ♡これだ
から童貞さんをドスケベに食い散ら
かすのはやめられませんか♡あはっ♡
まだおちんちん満足できませんか？
いいですよ♡お兄さんの好きなだけ
セックスしまくってあげます♡女を
おちんぽで征服する快感、たっぷり
と学習しちゃってくださいね♡」



「あーっ♡最高♡純真な童貞さんか
らセックス覚えたてのお猿さんに墮
ちちゃった性欲暴走おちんちん、最
高です♡私もこれから本気のドスケ
ベ交尾開始しちやいますから、お兄
さんも馬鹿みたいに中出ししまくっ
て私の子宮にオス特有の縄張り主張
しちやってください♡え、お金？そ
んなのもうどうでもいいじゃないで
すか♡セックス欲しさに肝心なもの
も放り捨てちやう馬鹿な雌、そんな
筋金入りの淫乱変態女に、お兄さん
は大事に守ってきた童貞を食べられ
ちやったんですよ♡」



「ふおおおっ♡お兄さんの八つ当た
りザーメン出されちゃいましたっ♡
ごめんなさい、悔しいですよね、悲
しいですよね、でも……気持ちいい
んですよ♡ほらほら、もう理性的な
んで捨てて、私と一緒に動物みたい
な快感貪りセックスに溺れてしま
いましょう？やん♡おちんちんを突き
上げて返事だなんて、これはまだま
だ楽しめそうですね♡」



「お……っ、んほおっ……っ……っ♡そ、想像以上に愉しめました♡腰を下ろすたびに頭の奥で気持ちいいのが爆発して、上げるたびに快感がずるずるって引き出されて、まさに夢見心地♡こんなに気持ちよかったのは久しぶりです、大当たりですね♡この人の連絡先とか、交換できないでしょう、か……っ!?!」

